

問1 室町時代の都市社会において、京都の「町衆」が行った活動やその背景として、最も適切な説明はどれですか。（2025年 和歌山公立入試 類似）

- 有力な商工業者が中心となって結成され、京都の自治的な運営や警護を担うとともに、祇園祭などの伝統行事を支えた。
- 有力な農民が中心となって結成され、寄合を開いて村の掟を定めるとともに、領主に対して年貢の減免などを要求した。
- 幕府や貴族から独占販売の特権を得た商工業者の団体であり、営業税を納める代わりに市場での利益を独占した。
- 交通の要所に倉庫を構えて物資の保管や輸送を請け負い、委託販売を行うことで京都の流通を支えた。

問2 15世紀、北山・中山・南山の三つの勢力（三山）が対立していた沖縄本島を統一し、首里を都とする琉球王国を建国した人物は誰ですか。（2023年 和歌山公立入試 類似）

- 尚巴志
- 足利義満
- 北条時宗
- 山田長政

問3 室町時代から戦国時代にかけての日本の対外関係について述べた次の説明のうち、当時の外交や交易の背景を正しく説明しているものはどれですか。なお、当時の状況を記録した資料には、武装して海賊行為を行う集団や、種子島への鉄砲伝来、砂鉄を用いた製鉄の様子などが記されています。（2025年 沖縄公立入試 類似）

- 足利義満は、倭寇を鎮圧することを条件に、明の皇帝から日本国王として認められ、勘合貿易を開始した。
- 幕府は海賊行為を防ぐため、長崎に扇形の人工島である出島を築き、すべての外国船の出入りをそこで管理した。
- 種子島に伝えられた鉄砲を国内で量産するため、日本は明から大量の砂鉄を輸入し、日本独自の製鉄技術である「たたら製鉄」を完成させた。
- 倭寇の勢力を弱めるため、幕府は朝鮮半島の沿岸部へ直接軍隊を派遣し、現地の拠点に代官を置くことで支配を強めた。

問4 室町時代、足利義満が明の皇帝から日本国王に封じられ、朝貢の形式をとって開始した日明貿易（勘合貿易）の仕組みについて述べた文として、正しいものはどれですか。（2020年 三重公立入試 類似）

- 海賊である倭寇と正式な貿易船を区別するために、勘合と呼ばれる割符を照合させた。
- キリスト教の布教を目的とした宣教師の来航を制限するため、朱印状を発行した。
- 朝鮮との交易において、偽造を防ぐために「図書」と呼ばれる銅印を対馬の宗氏に管理させた。
- 長崎の出島において、オランダ船が来航した際に商館長がオランダ風説書を提出した。

問5 尚巴志によって琉球王国が成立した15世紀前半という時期は、日本の本土における歴史区分ではどの時代に該当しますか。当時の幕府の名称を含んだ説明として正しいものを選びなさい。（2023年 和歌山公立入試 類似）

- 室町幕府が支配していた室町時代
- 鎌倉幕府が支配していた鎌倉時代
- 徳川氏が政権を握っていた江戸時代
- 平氏が権力を握っていた平安時代末期

問6 中世の日本において、海外貿易の発展とともに成長した都市に関する記述です。現在の大阪府に位置し、周囲に濠（ほり）を巡らせて自衛を行い、商人による自治が行われた都市の名称として正しいものはどれですか。（2021年 岐阜公立入試 類似）

- 堺
- 博多
- 京都
- 鎌倉

問7 北陸地方の一国を支配下に置いた「加賀の一向一揆」について、その性質を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2018年 奈良公立入試 類似）

- 一向宗の信仰を背景に、武士や農民が団結して守護大名を倒し、約100年間にわたる自治を行った。
- 京都南部の国人たちが守護大名の軍勢を追い出し、8年間にわたって自治的な政治を行った。
- 近江の馬借や農民が、高利貸しに対して借金の帳消し（徳政）を求めて蜂起した。
- 足利義教の暗殺をきっかけに、播磨の農民たちが守護大名の支配に対して反乱を起こした。

問8 室町幕府が守護の勢力を抑え、幕府の統制下に置こうとした政策について、その方針を正しく述べたものはどれか。（2025年 静岡公立入試 類似）

- 幕府内の結束を固めて内乱の発生を抑え、守護を将軍に服従させて幕府の体制に協力させる方針。
- 守護を完全に廃止し、幕府が直接任命した代官をすべての国へ派遣して、中央集権化を一気に押し進める方針。
- 守護が持つ軍勢力や経済力を自由に拡大させ、幕府と守護を対等な同盟関係として維持する方針。
- 守護を地方から引き離して京都に永住させ、地方の統治権をすべて農民の代表に委ねることで争いをなくす方針。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 有力な商工業者が中心となって結成され、京都の自治的な運営や警護を担うとともに、祇園祭などの伝統行事を支えた。	応仁の乱後の京都において、自らの生活と権利を守るために団結した人々を指します。彼らは単に商業を行うだけでなく、自分たちの町を自分たちで守る「自治」の意識を強く持ち、荒廃した街の復興や祇園祭の継続に力を尽くしました。なお、農民による組織は惣村、独占権を持つ団体は座、輸送業者は問丸と呼ばれます。
問2	答え 1 尚巴志	1429年に中山の勢力であった尚巴志が、北山と南山を滅ぼして沖縄本島を初めて統一しました。これにより、首里城を政治・文化の中心とする琉球王国が成立し、以後約450年間にわたり独自の国家として存続することになりました。
問3	答え 1 足利義満は、倭寇を鎮圧することを条件に、明の皇帝から日本国王として認められ、勘合貿易を開始した。	室町幕府の足利義満は、明の皇帝に対して臣下の礼をとることで「日本国王」に封じられ、倭寇の取り締まりを約束したことで正式な国交（勘合貿易）が成立しました。選択肢にある「出島」は、江戸時代にオランダや中国との貿易を制限するために長崎に作られたものであり、この時代の記述としては誤りです。また、鉄砲は1543年に種子島へ伝来し、その後の戦国大名の戦術に大きな影響を与えましたが、砂鉄を用いた「たたら製鉄」自体はそれ以前から日本国内で行われていた伝統技術です。
問4	答え 1 海賊である倭寇と正式な貿易船を区別するために、勘合と呼ばれる割符を照合させた。	足利義満は明との正式な国交を結ぶ際、明の皇帝に従う形式をとることで貿易を独占しようとしていました。当時、東シナ海で活動していた海賊「倭寇」を排除したい明側の要求に応えるため、二枚の紙を合わせて本物であることを証明する「勘合（勘合符）」を使用しました。これにより、正式な使節と密貿易者や海賊を明確に区別する仕組みが整えられました。
問5	答え 1 室町幕府が支配していた室町時代	琉球王国が統一された1429年は、日本では室町時代にあたります。当時は足利義満が室町幕府の將軍職に就いていた時期であり、明との勘合貿易が行われるなど、東アジア全体で海上交易が活発化していた時代背景と一致します。
問6	答え 1 堺	堺は和泉国（現在の大阪府）に位置する港町で、日明貿易や日朝貿易の拠点となりました。経済力を蓄えた商人たちは、自らの町を守るために周囲に堀を築き、独立した運営を行いました。その繁栄と自立した様子は、当時来日した宣教師らによって「東洋のベニス」と称されるほどでした。選択肢にある博多も貿易で栄えた自治都市ですが、場所は福岡県です。
問7	答え 1 一向宗の信仰を背景に、武士や農民が団結して守護大名を倒し、約100年間にわたる自治を行った。	加賀の一向一揆は、単なる減税要求ではなく、宗教的な結びつきを利用して守護大名を排除し、自ら国を統治した点が極めて異例です。山城の国一揆と混同されやすいですが、自治の期間（約100年）や、一向宗（浄土真宗）という宗教的背景の有無で見分けることができます。
問8	答え 1 幕府内の結束を固めて内乱の発生を抑え、守護を將軍に服従させて幕府の体制に協力させる方針。	室町幕府の統治は、將軍と有力な守護の連合政権としての側面が強く、守護の力が強まりすぎると幕府の基盤が揺らぐという課題を抱えていました。そのため幕府は、守護どうしの対立や幕府への反抗による内乱を防止する必要がありました。有力守護を軍事的に制圧したり、幕府の役職に組み込んだりすることで、彼らを幕府の体制に協力させ、將軍の権威のもとで国全体を安定させることが統制の主眼でした。